

会報

平成 25 年度精密工学会秋季大会関連事業 「元気の出る新技術講演会—産学・産産連携への集い」報告

精密工学会では、多くの企業の皆様に学会活動を知って頂き、さらにご活用頂くために、今年度より産学連携と産産連携を支援する講演会を始めました。平成 25 年 9 月 12 日には、関西大学で精密工学会秋季大会関連事業として「元気の出る新技術講演会—産学・産産連携への集い」を開催しました。この講演会は、関西大学社会連携部と関西大学科学技術振興会との共催で企画し、また、経済産業省近畿経済産業局のご後援と MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)のご協力を賜りました。講演会では、午前の第一部で産学連携講演、午後は産産連携講演として、前半の第二部は賛助会員の会によるニューテクノフォーラム、後半の第三部では大阪地域のものづくり企業からの話題提供をして頂きました。また、講演会後には、講演者と参加者との技術交流会を開催し、懇親を深めました。参加者は、第一部が 64 名、第二部が 60 名、第三部が 66 名、技術交流会には精密工学会の各支部長も参加して 79 名となり、この講演会全体では講師を除く参加者が 107 名で、盛況に終了致しました。

1. 第一部 産学連携のための新技術シーズ講演会

まず、経済産業省近畿経済産業局の遠藤様より、「戦略的基盤技術高度化支援事業等の公的制度に関する説明と申請のポイント」と題して、経済産業省の補助金事業の紹介とその申請書の書き方に関するご講演を頂きました。企業参加者にとって、戦略的基盤技術高度化支援事業は関心の高い補助金事業であるため、地元企業をはじめ多くの参加者が、この講演に興味を持たれていました。

次に、産学連携支援として、精密工学の分野でご活躍されている 6 人の大学研究者に下記のシーズについてご講演頂きました。

- 大気圧プラズマによる円管内壁へのダイヤモンド状炭素膜合成
東京工業大学 大竹尚登 氏
- TSV バンプ形状の超高精度・高速全数検査装置の開発
和歌山大学 藤垣元治 氏
- ホログラフィック時空間レンズを用いたフェムト秒レーザー加



大学研究者からの技術シーズ講演会



シーズ講演会後の個別相談

- 工 宇都宮大学 早崎芳夫 氏
 - 超音速氷粒による透明樹脂レーザ溶着のための光吸収表面の創製
名古屋工業大学 早川伸哉 氏
 - 切削一次加工および超音波ショットピーニング二次加工によるマグネシウム合金の高疲労強度化とメカニズム解明
岐阜大学 柿内利文 氏
 - 蚊の口器を模倣した低侵襲マイクロニードルの開発
関西大学 青柳誠司 氏
- ご講演頂いたシーズは、いずれも科学技術振興機構の研究成果最適支援プログラム(A-STEP)で採択を受けたものであり、参加者には、実用性の高い新技術として興味を持って頂きました。講演会後は 20 分程度の個別相談会の場を設け、産学連携のきっかけを作って頂きました。



ニューテクノフォーラム



元気のある企業からの技術講演会



パネルディスカッション

2. 第二部 2013 年度(第 6 回)ニューテクノフォーラム(NTF)

「甦れ!関西の中堅・中小企業～これからの再生への道～」

賛助会員の会によるニューテクノフォーラムがスタートしてから、今回が 6 回目の開催となりました。今回は、北嶋精密工学会副会長・秋季大会実行委員長の企画により、まず、「まいど教授」として有名な関西大学の西正曹名誉教授の基調講演のあと、東大阪でご活躍の経営者の方々の話題提供とパネルディスカッションをして頂きました。第二部では、以下の話題提供を通じて、中堅・中小企業のものづくりに関する現状と将来に関してご議論を頂きました。

- 基調講演「関西(東大阪)の中堅・中小企業のいま、そしてこれから」
関西大学 西正曹 氏
- パネルディスカッション
- 話題提供「新しい中小企業ネットワークの動向について」
ゼネラルプロダクション(株) 石崎義公 氏

話題提供「社会に役立つナノテクノロジーの事業展開」

クラスターテクノロジー(株) 安達 稔 氏

3. 第三部 技術講演会「元気のある企業の元気でる技術」

第二部の中堅・中小企業のものづくりに対する議論を受け、午後の後半では、大阪地域の各企業から下記の技術について、ご紹介頂きました。

- 汎用解析ソフト DEFORM を用いた切削解析事例
株式会社ヤマナカゴーキン 金 秀英 氏
 - ダイヤモンド金型の製作
株式会社新日本テック 和泉康夫 氏
 - 微細穴の現状と課題、産学連携の必要性
株式会社大阪製作所 後藤良一 氏
 - 超鏡面加工の開発
株式会社テクノフロント 長尾吉訓 氏
 - 4 連式回転曲げ疲労試験機の開発
株式会社山本金属製作所 山本憲吾 氏
 - 金属プレス VE(Value Engineering)金型技術ブランド[繊維強化熱可塑(CFRP)プラスチック]
株式会社小西金型工学 小西修史 氏
- いずれの講演でも競争力の高い技術を披露して頂くとともに、元気を感させる力のこもったお話を頂きました。

4. 技術交流会「ワインとチーズを片手に」

講演会後は、講演者と参加者を交えた技術交流会により懇親



技術交流会



技術交流会の展示パネル前での技術説明

会員企業も含めて多くの企業の方にご参加頂き、まずは「精密工学会のことを知って頂く」、「精密工学会を活用して頂く」ための一歩として企画しました。今後も、この講演会を、より多くの企業の方知って頂き、さらに、発展できるように企画を続けられればと存じます。

最後に、本講演会に多大なるご支援とご協力を賜りました経済産業省近畿経済産業局、大阪府商工労働部の MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、関西大学社会連携部、関西大学科学技術振興会の関係者の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

を深めて頂きました。懇親会の場合には、各企業からパネルを展示して頂き、ワインとチーズを片手にパネルの前で個別に技術紹介をして頂きました。展示して頂きました企業は、第三部で話題提供をした企業のほかに、講演会に参加された企業と関連組織からのパネル展示もありました。

この交流会は、精密工学分野の企業の方々の懇親を深める産産連携のきっかけの場として企画したもので、参加された企業の方々にとっては、学会講演会関連事業として新鮮な印象を持たれたようです。また、参加者が 80 名近くになったため、会場全体に、技術的な話や商談が見受けられました。

5. 最後に

今回は、賛助会員の会のニューテクノフォーラムと産学・産産連携支援講演会を繋げ、大会初日に「一日で開ける精密工学の産学・産産連携」の講演会を開催しました。講演会参加費を無料、技術交流会参加費のみを 2000 円として、非会員、非賛助